

<参加した研修会等の報告>

6月定例会議後は夏休みの時期と重なりましたが、その間は新人議員としての勉強の日々を送りました。この間の視察や研修を以下にまとめます。

期 間	場 所	内 容	備 考
7月1日(水)～3日(金)	福島県	被災地の現地視察 再生可能エネルギー発電の視察	会派
<p>(感想等) 3日間の福島県の視察でした。報道ではそれほど感じていたものが、実はものすごく大変だったということを感じました。やはり現実を自分の目で見て、肌で感じる事が大切だと思いました。原発については推進・反対と様々な考え方の人がいます。その人の中での優先順位だと思います。何が正しいのかは分かりませんが、命は大切だということ、原発以外のエネルギー開発も並行して行わなければならないことは確かなことだと思いました。</p>			
7月7日(火)～8日(水)	大阪府	家庭教育支援	個人
<p>(感想等) 子育て支援を充実させることで子育て世帯の流出を防げることや、その核になるであろう「家庭教育支援チーム」は柏崎にも既に存在していたことも分かりました。教育を活動の中核に据えた私のような議員にとっては有意義な講座でした。</p>			
7月16日(木)～17日(金)	東京都	行政評価、住民へのコミュニケーション	個人
<p>(感想等) 評価の視点が行政側にあるようなものではなく、市民視線の項目で、たとえば市民の幸福度などで調査する必要があると感じました。また、コミュニケーションについては、発信する側ではなく、受け手として共感できる表現にするためにはどうすればいいのか、について学びました。</p>			
7月18日(土)	阿賀野市	議会報告会	委員会
<p>(感想等) 議会の決定事項や今進んでいる工事などの進捗状況を報告し、テーマを決めての意見交換会、市民の要望などの意見聴取を行いました。参加者からも積極的な発言があり、短い時間ではありましたが充実していたと感じました。</p>			
8月19日(水)～21日(金)	滋賀県	1年目議員研修会	個人
<p>(感想等) 議員としての心構えや議会と議員、身分などについて講義を聴き、全国から集まった新人議員たちとの交流会を行ってきました。しばらく議員を続けていけば自然と知ったり身についたりすることなのかもしれませんが、早めに学ぶことができたことはよかったです。</p>			

*これらの研修会等に参加するために「政務活動費」を使わせてもらっています。学んだことを議会に、市民の皆様にお返ししていくよう、これからも頑張っていきます。なお、「重野まさきオフィシャルサイト」(ホームページアドレス：<http://www.m-shigeno.net>)の「活動」のところ各研修についての報告をしていますので、そちらもご覧ください。

「重野まさき後援会」への入会を募集しています。ホームページからも入会できます。

後援会事務所 ☎0257-24-1671 ホームページ <http://www.m-shigeno.net> メール info@m-shigeno.net

★重野正毅はフェイスブックもしています★

人を、まちを、未来を、つなげる 重野まさき通信

第3号 平成27年10月21日発行

発行：重野まさき後援会
事務所：〒945-0072 柏崎市北園町19-47
連絡先：☎0257-24-1671
発行責任者：入澤 稔 (後援会内部討議資料)

7月の中頃から続いた暑さも、9月になってからの長雨により例年よりも早い秋の訪れを感じたような気がしました。また、全国各地で大雨により被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。10月半ばからはさらに気温も下がってきました。皆様はいかがお過ごしでしょうか、ご自愛ください。

9月の定例会議が終わりました。毎年9月には前年度の「決算」の審議が行われますので、今回も定例会議後に「決算委員会」が引き続き行われ、予算の執行が適切かどうかについて確認しました。

一般質問の様子です。今会議から議場にも国旗と市旗が掲げられました。



9月定例会議終了

<一般質問の内容>

- 1 柏崎市の学校教育について
市民アンケートにおける学校教育の充実の重要度と満足度の差異の要因と改善策

(質問要旨) 昨年度実施し、まとめられた「市民アンケート」の中において、「学校教育の充実」の重要度は高く、その満足度もそれなりに高評価を得ていたように感じます。教育関係ではなかなか重要度と満足度の一致は果たせないのかもしれませんが、市民の皆さんが評価したこの満足度の要因と今後の改善策について、今のところのお考えをお聞かせください。

(教育長答弁抜粋) 重要度と満足度については両方ともに上位に評価されました。これからも学校教育の重点施策を確実に推進していくことが子育て世代をはじめとする市民の皆様の満足度を一層向上させていくことになると考える。目指す子ども像である「夢や希望をもって将来に向かってたくましく生き抜く子ども」を育てるために、家庭や地域の人々と教職員が一体となって確かな子どもの成長を目指す、共に歩む地域の学校づくりをさらに推進していき、どの子どもにも生きる力の基盤を確実に育てていくことが重要だと考える。

(追質問) 教育活動の最前線に立つ教員へ焦点を当てた取組もあっていいように思います。教員の高い自己肯定感や自己有用感を目の前にいる子どもたちの自己肯定感や自己有用感の向上に直結すると考えます。教員の日々の活動のモチベーション向上のための工夫として、例えば、教員の日々の地道な活動を校区の住民の方々へ広報したり、学校の施設設備の改善、例えばランチルームや集会教室へのエアコンの設置などの実現に努めていただきたいと思います。予算の問題もあると思いますが、教育の最前線に立つ教員へスポットライトを当て、その自己肯定感や自己有用感を高めるような取組についてのお考えをお聞かせください。

(教育長答弁抜粋) 教員の自己肯定感や自己有用感が子どもたちの自己肯定感や自己有用感につながっていくことはその通りだと思う。校長会や研修会を通して先生方が取り組んでいることに対してその成果を評価して広めていく。管理職には自校の先生方に思いを伝えるとともに、たよりを通して保護者にも先生方の取組を伝えてほしい。それが子どもたちの自己肯定感や自己有用感の育成にもつながっていく。環境面では予算の問題もあるので、徐々にではあるが計画的に進めていきたいと考えている。

2 柏崎市の子育て、家庭教育支援について

柏崎市におけるアウトリーチ型（訪問型）の家庭教育支援の現状と今後の方向性

（質問要旨）国の事業を受け、県も「訪問型家庭教育支援チーム」を設置して活動を進めようと、「アウトリーチ型支援」を目指しているようです。市において現在の状況と今後の取組の方向性と具体的な取組のお考えがあるようでしたらお聞かせください。

（教育長答弁抜粋）県の教育月報によると、誰にも相談できずに子育てに悩みを抱えていたり一人で問題を抱え込んでいる人に支援の手を伸ばすために、各市町村で支援者の養成や家庭教育支援体制を整えていく必要があるとのこと。

（追質問）市としてのアウトリーチ型の支援や、家庭教育支援の在り方、あるいは家庭教育支援チームについてのお考えを聞かせていただきたいと思ひますし、あわせて現在の柏崎市の就学後の家庭教育支援の状況と今後の具体的な取組のお考えがあるようでしたらお聞かせください。

（教育長答弁抜粋）社会全体での家庭教育支援の必要性が高まっている。文科省では家庭教育支援チームの登録を進めており、現在は全国で124チーム、新潟県では2チーム、そのうち1チームは柏崎の家庭教育支援チームの登録がある。文科省でも研究を進めているという現状である。現在、市の教育センターでは不登校や発達障害にかかわる相談活動を行っており、来年度からは保護者を対象とした研修講座を実施する計画がある。これらはアウトリーチ型にはなっていないことは確かである。子育て支援センターが中心になって行っている支援は家庭児童相談室で、家庭での養育支援を電話相談だけでなく訪問しての活動も行っている。教育委員会ではこれからも既存の活動を維持充実させていくと同時に、国や県の方針やアウトリーチ型の支援の成果を注視しながら、取り入れられる。

3 児童生徒の通学の安全確保について

現段階での「柏崎市通学路安全推進会議」の進捗状況と、歩道部分のカラー舗装化

（質問要旨）柏崎市通学路安全推進会議の進捗状況と早急に取り掛かることについてお聞かせください。また、1年前に安全確保の具体例として言われた歩道部分のカラー舗装化の検討の状況と今後の予定をお聞かせください。

（教育長答弁抜粋）柏崎市通学路安全推進会議は昨年11月に発足した。年度初めに各小学校から通学路の危険箇所の状況について報告を受け、8月27日に国県市の道路管理者や警察、地区代表、学校などが参加して市内7小学校区14か所の合同点検を行った。それを踏まえて区画線などの路面標示、側溝のふた掛け、交通安全施設整備、交通取り締まり、見守り活動などを着実に実施して児童生徒の安全な登下校に努めている。昨年度いくつかの町内会から歩道改善の要望があった。道路の拡幅により整備することが望ましいが、昨年度は一部区間において側溝のふた掛けにより歩道の拡幅を行った。カラー舗装化については最も危険な箇所だけでも何とかしたいとの苦肉の策であるということを理解してほしい。

文教厚生常任委員会の様子です。内側の8名が委員で、その外側が傍聴議員です。奥に大勢いるのは市役所当局の方々です。当局の方から説明を受けています。



<賛否が分かれた議案等>

今会議ではいくつもの議案・意見書が提出されました。その中で賛否が分かれたものについて、私の立場とあわせて以下に記します。

議案等の要旨	議会の可否	重野の賛否	備考・重野の意見
体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（陸上競技場の有料化）	可決	賛成	陸上協会の一員としては競技場の有料化には反対の気持ちが強いことは確かです。しかし、受益者負担の適正化と他の施設利用者との公平化を考えたとき、この有料化はやむを得ないことと判断しました。陸上競技場が活発に利用されるよう工夫がなされることと潮風公園をしっかりと整備することを付して賛成しました。
学費と教育条件の公私間格差是正に向け、私立高等学校下の私学助成の増額・拡充を求める意見書	可決	賛成	公立・私立高校に関係なく、生徒や保護者の経済的負担が少なくなるよう助成していくことには賛成です。

今、議会では2つの特別委員会が設置されています。「柏崎刈羽原子力発電所調査特別委員会」と「新庁舎建設特別委員会」です。

- 原発の特別委員会はその再稼働の決定というものではなく（議会にはその権限はありません）、避難計画を含めた住民の安全性の確保や国や事業者からの説明と検証などについて話し合い、再稼働に関わる調査研究をしていくものです。
- 新庁舎の特別委員会は駅前のアルフォーレ脇に市役所を建設するために、議会としての意見を取りまとめるものです。平成32年度完成を目指して動き出そうとしています。

柏崎市議会報告会

◎時 間 午後7時00分～8時30分頃

◎内 容 9月定例会議の報告、テーマ（人口減少）に基づいた意見交換

◎期日・会場

期 日	会 場		
11月 6日（金）	西山いきいき館	比角コミセン	北条コミセン
11月 9日（月）	松波コミセン	半田コミセン	市民プラザ
11月11日（水）	中通コミセン	中鯖石コミセン	高柳コミセン
11月13日（金）	大洲コミセン	田尻コミセン	高田コミセン

今年から「柏崎市議会報告会」は、年間2回、4月と11月に中学校区12か所で実施する予定です。お近くの会場にお越しください。

「重野まさき議会報告会」を行います。

日時・会場については後日・別にお知らせします。ご参加よろしくお祈いします。



★1-2月の定例会議は12月7日（月）に始まり、22日（火）までの開催になります。

- 年末年始に向け、いろいろな儀礼的なものがありますが、議員として「お歳暮」「年賀状」は贈る贈られということが禁止されていますので、ご了承ください。

- 8月27日に義父諸里正典が死去しました。生前はいろいろな方々に大変お世話になりました。ありがとうございました。紙面でのお礼で恐縮ですが失礼させていただきます。また、年賀欠礼させていただきます。